

順位表 10/27現在
基本 34試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	大宮	80p	+40	63	23	A●
2	今治	61p	+16	53	37	A○ H○
3	富山	56p	+15	45	30	H△
4	沼津	51p	+10	50	40	H● A●
5	FC大阪	51p	+8	36	28	A△
6	福島	49p	+10	55	45	H○ A●
7	相模原	49p	+1	37	36	A△ H●
8	松本	48p	+8	51	43	A○ H●
9	北九州	48p	0	34	34	H● A●
10	八戸	47p	+3	38	35	H● A●
11	鳥取	47p	-10	44	54	A○ H●
12	金沢	46p	-1	47	48	A△ H○
13	琉球	46p	-5	42	47	H△
14	岐阜	45p	+4	56	52	---
15	宮崎	40p	-4	41	45	H● A○
16	讃岐	39p	-4	42	46	H○ A●
17	長野	35p	-10	42	52	A● H○
18	奈良	32p	-14	39	53	A● H△
19	YS横浜	31p	-23	29	52	A○ H○
20	岩手	21p	-44	24	68	H○ A○

次回HomeGame

第37節 vs.大宮アルディージャ
11/16(土) 15:00 ★ホーム最終戦★
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
串かつ
14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日:日曜・祝日>
TEL. 058-252-1580



通算対戦成績	全3試合 (J3: 3試合) 岐阜0勝 / FC大阪1勝 / 2分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 0勝0分1敗		
直近の対戦結果	2024/03/16 J3 - 4節@花園 FC大阪 0-0 岐阜		
ここ 3試合の 公式戦の 結果	岐阜	FC大阪	FC大阪
	2024/10/26 J3 - 34節@長良川 岐阜 4-1 今治		2024/10/27 J3 - 34節@いちご 宮崎 1-0 FC大阪
	2024/10/20 J3 - 33節@ウエスタ 岩手 0-6 岐阜		2024/10/19 J3 - 33節@花園 FC大阪 3-2 北九州
	2024/10/11 J3 - 32節@長良川 岐阜 2-1 長野		2024/10/13 J3 - 32節@ロートF 奈良 0-1 FC大阪

● J3リーグ 2024 シーズンも最終盤に入り、ようやく復調のきざしを見せているFC岐阜。10/26 (土) 第34節・ホーム今治戦は、序盤からお互いに激しい攻防を見せるが、前半36分に#11 藤岡浩介が先制点を挙げて前半を折り返す。後半11分には#8 荒木大吾がミドルで追加点を挙げるが、直後に失点してしまい再び1点差に。しかし、ここでチーム全体で気を引き締めた岐阜は、後半19分に#16 西谷亮がPA外から見事なシュートで3点目を挙げると、後半34分にはPKを#11 藤岡が決めて4点目。その後は失点を許すことなくゲームを締めた岐阜は4-1で勝利。ホーム3連勝そしてリーグ戦3連勝を達成した。

この試合で勝利したものの、岐阜の順位は14位と相変わらず変化はない。だが、20位 (= JFLの順位によりJ資格喪失が確定)・岩手との勝点差は24、19位 (= JFL入れ替え戦が想定)・YS横浜との勝点差は14になった。今季の残り試合は4、これで岐阜の“J3残留” (最終順位18位以上) が確定し、あとは上位を目指していけば良いだけの状況になった。その上位では、大宮がJ3優勝・J2復帰を確定させ、続く2位・今治と3位・富山は、それぞれ少し勝点差をつけているが、4位・沼津から14位・岐阜までの勝点差はわずかに6。シーズン最終盤になってもJ2プレーオフ出場争いは大混戦の様相を呈している。そして、岐阜と6位 (= プレーオフ出場圏)・福島との勝点差は、7から4に縮まっている。残り4試合を岐阜が全勝すると仮定すると、最終勝点は57。福島の平均勝点から算出される最終勝点も57。また、直近5試合で積み上げた勝利数 (勝点) は、リーグで岐阜が最も多いという判断材料もある。J2自動昇格は不可能になっているものの、わずかではあるが、プレーオフ出場圏に届く可能性が出てきた。ただし、今後の岐阜の対戦相手4チームは、FC大阪、富山、大宮そして琉球と、上位チームが続く。引き続き厳しい対戦相手だが、選手たちにはシーズン終盤でようやく掴んだチームの勢いに自信をもって欲しい。そして、あくまでも目の前の1試合に集中して、最後までひたむきに走り続けて、ひとつでも多くの勝利、少しでも多くの勝点を積み重ねることで、最後に見えてくる光景を信じて、戦い続けて欲しい。

さて、今節の対戦相手は、先述したようにFC大阪だ。J初参入となった昨季は、好調不調の波に苦しみながら、最終順位は11位。今季は新たに大嶽直人監督を迎え、選手も大幅に入れ替えて2年目のJ3に臨んでいる。そして今季開幕3連勝を達成して首位に立ったが、その後は緩やかな好調不調の波があり、現在はプレーオフ圏内の5位にいるチームだ。しかし、直近5試合の戦績は3勝1分1敗・6得点4失点で、FC大阪と岐阜との勝点差は6。厳しい対戦相手ではあるが、臆することなく戦って勝利を掴むことが重要だ。

FC大阪との通算対戦成績は、岐阜の2分1敗・1得点2失点。昨季のホーム戦・4/16 (日) 第7節は、ゴール前の混戦で押し込まれて失点。その後、岐阜は負傷者や退場者を出しながら攻勢を強めたが、得点を奪えずに0-1で敗戦。今季の3/16 (土) 第4節・アウェイ戦は、両チームとも見せ場を作りながらも、お互いにGKの好セーブなどでゴールを割らせず0-0。現在のJ3では、FC大阪は失点が2番目に少なく (1番は大宮) 得点は4番目に少ないチームで、ロングスローを含むセットプレーとカウンターが特徴であるのに対して、岐阜は得点が2番目に多く (1番は大宮) 失点は4番目に多いチームでサイド攻撃やパスを特徴としている。対照的な両チームといえるだろう。そのFC大阪の堅守を支えるのは、守護神のGK #1 永井建成だ。これまで何度もビッグセーブでチームの危機を救っており、最も警戒すべき選手といえるだろう。一方の岐阜は、これまではFC大阪の堅守に阻まれているが、今節は岐阜の攻撃陣が活躍する姿を見せて欲しい。特に、現在J3得点ランク1位の#11 藤岡が、今節もゴールを決める姿に期待したい。また、FC大阪には、かつて岐阜に在籍 (2018年) した#33 禹相皓がいる。古巣対決に燃えているだろうが、今節は活躍させる訳にはいかない。

今シーズン残り4試合、ここからが本当の正念場だ。最後まで戦い抜く気持ち、勝利を掴みとる姿勢が、試合の結果を大きく左右することになるだろう。僕らFC岐阜サポーターも、チームと一体になって戦おう。勝利を信じて最後まで、拍手と声援で選手たちの背中を押し続け、タオマフやフラッグで選手たちを鼓舞し続けよう。そして今節も、“HYPER CHANT” の凱歌を、このホーム・長良川に響かせよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第34節】岐阜 4-1 今治

●ここからの戦いは気を抜けない相手の連続。そんな中で臨んだ今治戦だったが、結果内容共に圧勝！

岐阜の4ゴールはどれも素晴らしかったが、特に3点目の西谷亮のゴール。萩野滉大からのパスを受けて放ったシュートは、今治 GK セランテスが一步も動けないゴラッソ。

守備では甲斐健太郎、野澤陸のCBコンビが今治の得点源マルクス・ヴィニシウスに決定的な仕事をほとんどさせなかった。そして試合毎に増す北龍磨の存在感。セットプレーの前にスタンドを煽るなど、サポーターも乗せてくれる。

今治は試合を通して何となく緩かったなと感じたのは自分だけだろうか。そしておそらく自分たちも分かっていたその緩さを試合中に修正出来ぬまま終わってしまったような印象が。これで3連勝、プレーオフ進出も射程圏に入ってきた。ここまで来たらもっと夢見させて欲しいな。

まずは次の週末のFC大阪戦が大事、良い準備をしていい戦いを。(岐阜の誇り)

●前節は6-0の大量得点で勝利、だけど相手は最下位の岩手。この日の試合は2位・今治。前節とは相手の実力も全然違うから、そう簡単にやらせてはくれないと覚悟を決めて……なんですが。確かに一進一退の攻防なんですが、今治と互角に渡り合ってる選手たちの勇姿に、僕は驚きと嬉しさと、そして今までのチームの姿は何だったのか……と、ごちゃごちゃになった複雑な感情になったことを告白します(苦笑)。やっぱり、全員がよく走って、少しぐらい陣形が崩れても(入れ替わっても)お互いにサポートしてボールを前に運ぶサッカーって、僕は見てて楽しいです。選手たちも、そんなサッカーに慣れてきたのか、少しずつ連携が向上しているような気がします。とはいえブラジル人FW2人の攻撃を身体を張って防ぐのはギリギリで、そんな苦しい時間帯の前半にゴールを挙げてくれたのは、エース#11藤岡浩介！ボールを右にはたいて#19松本歩夢が折り返したのをPA内に入って先制点！この先制点で、チーム全体が楽になったと僕は思う。後半当初からは今治が2枚替えして#17ウエズレイ・タンキを替えてきたのは驚いたけれど、岐阜も#8荒木大吾を投入と思い切った策に出て、これが奏功した。敵陣でのパス交換でこぼれたボールに#8荒木が右足を振り抜いて2点目！ただ、この後のキックオフで1分前から失点……。これは試合の流れが今治にもってかれる、下手したら逆転されるかも、と僕は不安になったのだけど、この後が凄かった。たぶん#6北龍磨が最初に声をかけたのかな？選手全員で円陣を組んで、選手同士の意識の統一を図って守備を立て直す。そして失点の7分後、#16西谷亮がPAの外からゴール上隅に突き刺すゴラッソ！相手GK#31セランテスが一步も動けなかったもんなあ。さすがはヴェルディっ子、何とか借りパ……いや、なんでもないです(笑)。その後もPKを獲得……というか、3バックの#39遠藤元一がPAに侵入して倒されるとか、今季の(調子の悪かった)チームで見たことないですよ(苦笑)。このあたりも、選手が全体で流動的に動いて、相手の守備を崩してる効果なんだと思いました。このPKを#11藤岡がきっちり決めて4点目、そして#11藤岡は(今治の#10マルクス・ヴィニシウスを岐阜の守備陣がきっちり抑えたこともあって)J3得点ランク単独トップ！残り4試合も得点を決め続けて、目指せJ3得点王！その後はしっかりと、相手に2点目を許さない守りで4-1。今治が調子悪かったような気もするけれど、2位・今治を相手に(失点シーンを除けば)ほぼ快勝。選手たちも、今のサッカーに大いに自信を深めてくれたことでしょう。個人的には、岩手に6-0は少し後味が悪かったんですが、今回は上位チームを叩く勝利、最高です(笑)。

そして、このサッカーを残り4試合でも続けることができれば、もしかして……。下手に“フラグ”を立てたくない気持ちと、でも期待してしまう気持ち。いやあ、今シーズンの終盤に、こんなワクワクする試合を見られるなんて、(ひと月前には)

思ってたかったです(苦笑)。でも、ここから油断せずに勝ち続けて、目標を達成しましょう！(ささたく)

●あのさあ、前もって言っといてよ、こういう試合が出来るんなら(笑)。先制点に追加点、さらには中押し、ダメ押しとある意味「やりたい放題」な内容と結果。この日の『アイーダ』は余裕だったね。

前節、自動降格圏に快勝した後の【対上位クラブ四連戦】。勝ち点の一つ二つくらいは奪ってやって、少しでもジャマしたれ！いや、そもそも、ウチもまだ、確定してないやん、残留が……という感じでキックオフしたんだけどさ。どうした？弊クラブ。サイドだけじゃなく、長短交互に縦に入れて、しかも無理せず、丁寧に後ろで回して再構築とか。で、2位が様子見？してるうちに(いや、決定機も2回くらい作られたけど)、真ん中で受けたコースケがカンタンに右に叩いたパスをアユムが早めに入れたクロスコースケがコントロール・ボレー。ナニ？そのミドルレンジなワンツースは(「ワンツース」ではないけど)。

そして、しっかりと、リードを保って入った後半。これまた、見事なパス回しからのこぼれ球を大吾がキッチリと。どうしたんだ？……と思った途端に失点。さすがは2位。スキを見せたら……と思ったら、なんかヘン。選手全員が円陣組んで。いや、「ヘン」とか言うのは申し訳ないんだけど、ホントにどうしちゃったんだ？ウチの子たち。有り体に申し上げれば、このシーンがボクの中では一番のハイライト。こんなコトが出来るのか、と……。

今治も気合いを入れてきたのを防ぎつつの一進一退。ソレを制したのはウチだった。コレも鮮やかなパス交換からの西谷ゴラッソ。キーパー、一步も動けず。その後にPKで追加点。いつのまにか、得点ランキングのトップにコースケ。いや、たまらんねえ。コレが続けられるんなら、今後の上位クラブとの試合が楽しみだね。全部勝ち切ったら、ウチにもプレーオフへの進出、ワンチャンあるかもよ？(翌日にDAZNの見逃し配信見たけど、ウチがよかったというより、「どうした？2位。」ってところも多々あったね。なんで、萩野も西谷もあんなに『どフリー』にしたんだろ？)

兎にも角にも、残留確定。ああ、なんと、甘美な響きであることか。いい酒やワインとか焼酎とかウイスキーをじっくり味わいながら呑みたい気分。コレが、優勝や昇格ならビール一択なんだけどな。期待していいですか？とにかく、大阪戦も精一杯の後押しやります！(ぐん)

●正直に言いますが、J2自動昇格圏内において、少しでもその可能性を盤石にしたいはずのチームを相手にしているとは思えなかった。今治はバイタル・エリアの守備がびっくりするほど緩くて、ダイゴや西谷のような決定力のある選手がそこにフリーでいれば、そりゃGKの届かないところに蹴れますよ、蹴りますよ。

アユムの低いクロスを綺麗にコースに流し込んだコースケの先制点も美しかった。そして、4点目のPK獲得のシーンは、倒されたのは3バックのゲンちゃん。「YOUは何しにペナエリアへ？」(笑)とか思ってしまっただが、帰宅後にDAZNで見返すとその前のパス回しでアユムとポジションを替えているのね。さらに、中に入ったアユムはリョーマと替わって前へ。「パスで崩す」って、これだよこれ。選手も動いてこそ。失点の際にはすぐに円陣組んで確認をするとか、やっと共和制サッカーが出来るようになったか。王制派？(笑)の選手がベンチにいないのも、納得です。

他会場でYSCCが敗れたことで岐阜のJ3残留が確定した。もう、下は気にしなくていい。J2昇格プレーオフ圏内を掴めるかはわからないけれど、伸ばせば手は届きそう。伸ばしてみようか。(吉田铸造)